

すい どう

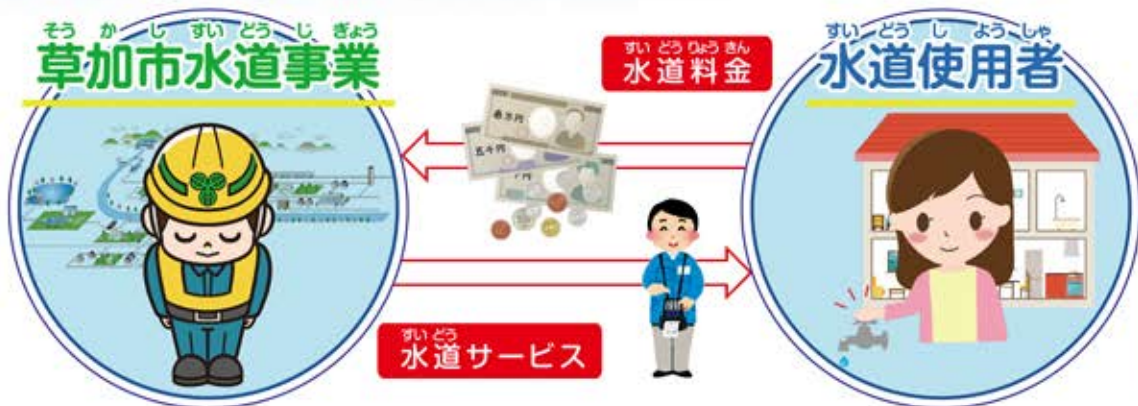
そうかの水道



そう か し すい どう し ぎょう
草加市水道事業

水道事業の仕事としくみ

水道事業は、水道法という法律に基づいて安心して飲める水を24時間、365日安定して送り続ける仕事です。「水道が支える快適な暮らし」を基本理念に、「安全」「強靱」な水道を「持続」していけるよう、日々の仕事に取り組んでいます。そのために、古くなった水道管を取り替えて地震や災害に強くなるようにしたり、水質検査を行うなど、いろいろな仕事をしています。



水道事業の経営は独立採算となっていて、市の税金は使わず水道使用者の皆様の水道料金で運営されています。

基本理念 水道が支える快適な暮らし

- 【安全】** 安心・安全な水の供給
 水質をしっかりと検査・管理していきます。
- 【強靱】** 地震などの危機に耐えうる強靱な水道
 老朽施設の更新や耐震化を行います。
- 【持続】** 持続可能な水道
 計画的かつ無駄のない事業運営を行います。



安心・安全な水道水をPRするために、様々な広報活動を行っています。



水源を巡るバスツアー

夏休みに小学生の親子を対象として草加の水源地のひとつであるダムの見学を行っています。

水とのふれあい広場

水に関わる催しを通して、近隣の皆様に水道事業をPRしています。

水道出前講座

浄水の仕組みや利き水体験などを通して水道水の安全性への理解を深めてもらっています。

草加の水はどこからくるの？

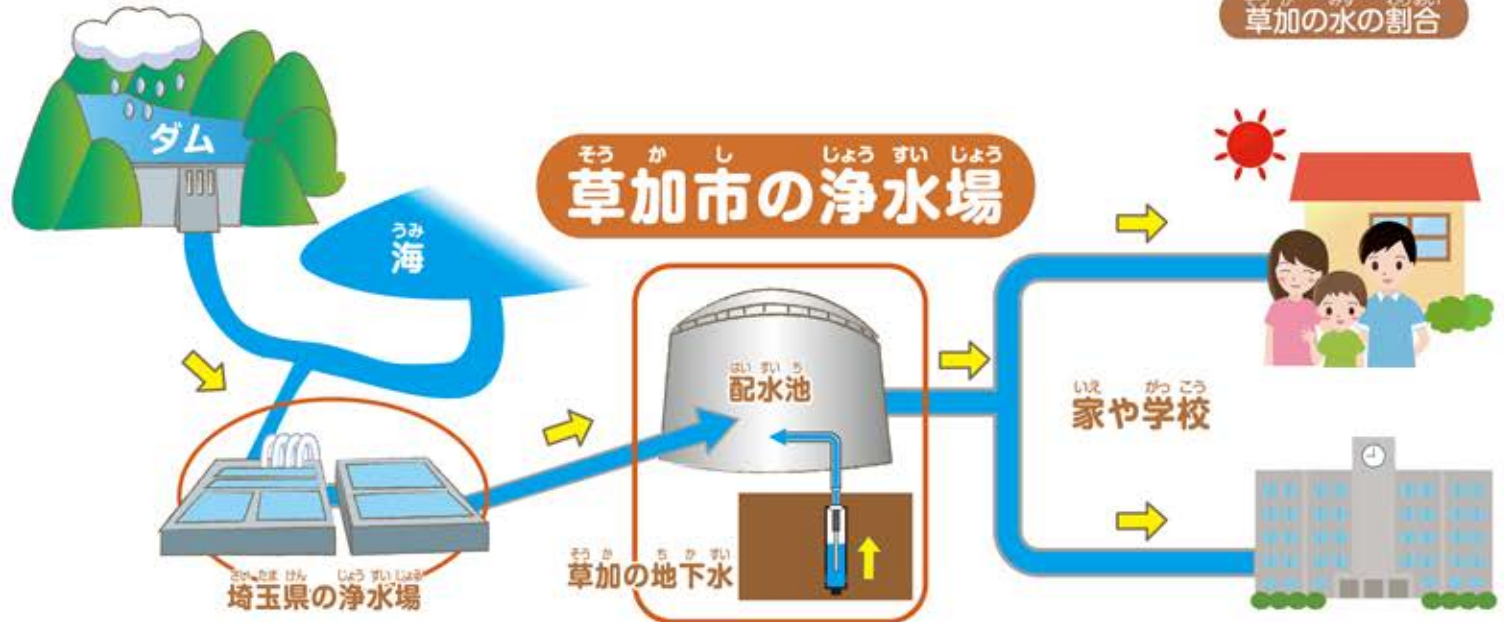
草加市の水道水は埼玉県の浄水場で江戸川などの水からつくられた水道水が約85%を占め、残りの約15%の水道水は草加市内の浄水場で井戸から地下水をくみ上げてつくっています。

埼玉県の浄水場から送られてきた水道水と、草加市の地下水でつくった水道水を、市内の浄水場の配水池で一度貯めて、市内の家庭や学校に配っています。

草加の地下水 約15%



草加の水の割合



すいげん じゃくち みち 水源から蛇回までの道

1 しゅすいせい 取水井



ふか いじょう ふか いど
深さ200m以上の深井戸か
らポンプで地下水をくみ上
げます。

2 しょうどくせつび 消毒設備



あ ち かすい し あえん
くみ上げた地下水に次亜塩
素酸ナトリウムという薬品を
注入し、消毒・滅菌します。

3 かちろ過池



ちい せいな ごみ・マンガン・鉄
分などをろ過して取り除き
ます。

4 じょうすいち 浄水池



ろ 過した水道水（浄水）を
貯めておき、配水池へ送り
ます。

5 はいすいち 配水池



ろ 過した水道水と埼玉県の
浄水場から送られてきた水
道水を貯めておきます。

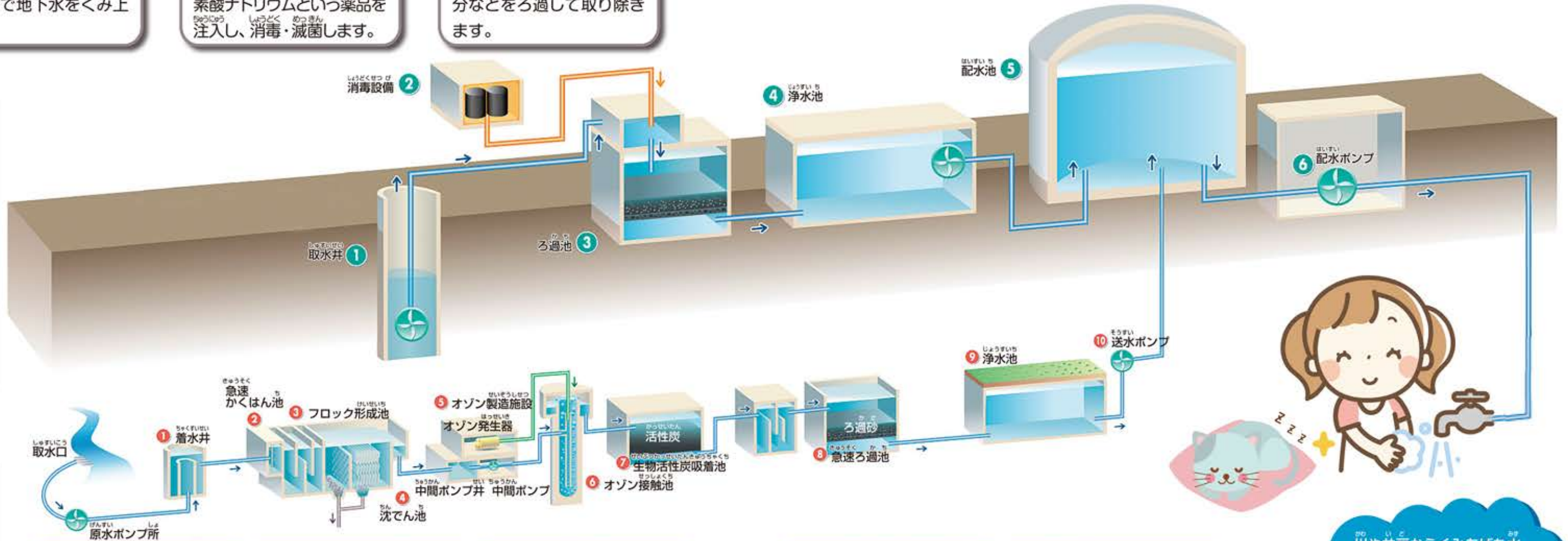
6 はいすいち 配水ポンプ



はいすいち た ずいどうすい
配水池に貯められた水道水に
おつりよく しんがい かてい がつ
圧力をかけ、市内の家庭や学
校などへ水道水を配ります。

そつかしのしゅすいじょう
草加市の浄水場

さいたまけんのしゅすいじょう
埼玉県の浄水場



川や井戸からくみあげた水から水道水をつくりみんなに配るためには、きびしい水質基準があり、たくさんの工程をたどるんだよ！だから安心して水道水を飲んでね！



水道のお医者さん
「Dr.すいどー」
引用：水道PRパッケージ

1 着水井
浄水場に原水が流入する最初の施設で、浄水場内の各池へ水を分け、水処理量を調節します。

2 急速かくはん池
水のにごりを取り除くため凝集剤を入れて、勢いよく混ぜ合わせます。

3 フロック形成池
水のにごりを小さなかたまり（フロック）にします。

4 沈でん池
にごりのかたまりを沈めて取り除きます。きれいになったうわ水が沈でん池から流れ出ていきます。

5 オゾン製造施設
細菌やカビ臭物質、ウイルスの殺菌などに有効とされるオゾンを発生させます。

6 オゾン接触池
沈でん池からの処理水にオゾンを注入して殺菌します。

7 生物活性炭吸着池
臭いや不純物を吸着する活性炭を使って、水をきれいにする処理をします。

8 急速ろ過池
水を砂の層でこして、目に見えない細かな物質を取り除きます。

9 浄水池
完全にきれいになった水道水を貯めておく施設です。

10 送水ポンプ
浄水池に貯められた水道水を草加市や他市の浄配水場へ送ります。

地震などの災害にそなえて

阪神・淡路大震災（1995年）、東日本大震災（2011年）、熊本地震（2016年）や東日本台風（2019年）といった大規模災害では、被災地域の水道管が壊れて水が出なくなり、飲み水や生活・医療で使用する水が足りなくなっていました。

草加市ではいつ起こるかわからない地震などの災害に備え、耐震化事業を進めるとともに、被災地域へ応急給水の応援に行き経験を通り、水道が使えなくなったときに、できるだけ早く応急給水を行えるよう、様々な対策や訓練を実施しています。

水道施設の耐震化



古くなった水道管を地震に耐えられる水道管へ取り替えたり、地震が来ても壊れない配水池を建てています。



各種防災訓練など

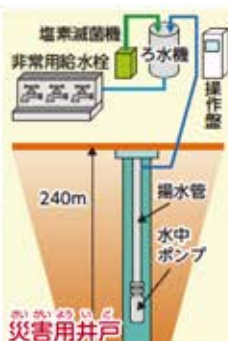


市民の皆様のライフラインを守るために、様々な被害を想定した訓練を実施しています。また、民間企業や県内外の水道事業者と協定を結び、災害時の協体制を整えています。

いろんな訓練があるのね!



施設や設備の拡充



水道庁舎は停電時でも、地下水を利用して水道水を作ることができるんだよ!



災害が起きても水を配れるように、様々な設備や資機材の整備を行っています。

災害に備え、ご家庭でも水の備蓄をお願いします。

1人1日 3リットル
3日で 9リットル



4人家族なら 36リットルです!



台風や地震などに備えて3日分の飲み水を確保しましょう! 長期保存用のペットボトル水などが備蓄に便利です。



応急給水の様子

東日本台風では、被災地域の福島県いわき市で水が出なくなり、職員4名が応急給水に行きました。

草加市内の浄配水場と応急給水拠点

草加市内には全部で5か所の浄配水場があります。新栄配水場は埼玉県さいたまけんの浄水場から送られてきた水道水をそのまま配水し、旭浄水場・谷塚浄水場・吉町浄水場・中根浄水場では、地下水から水道水をつくり、埼玉県さいたまけんの浄水場から送られてきた水道水と一緒に配水しています。

災害時に水道が使用できなくなったときには、施設の被害状況を確認した後、必要な準備ができた拠点から順次応急給水を行います。応急給水拠点となるのは、水道庁舎1か所、浄配水場5か所及び避難所である小中学校32か所です。（水道庁舎及び浄配水場については上下水道部が、小中学校については避難所が主体となって応急給水を実施します。）いざというときのために、近所の応急給水拠点を確認しておいてください。



新栄配水場
 昭和55年4月給水開始
 住所：新栄3-1-2
 配水池の大きさ：10,000㎡×2つ
 配水能力：1日あたり40,000㎡



中根浄水場
 昭和46年5月給水開始
 住所：中根2-38-24
 配水池の大きさ：10,000㎡×1つ
 配水能力：1日あたり26,300㎡




旭浄水場
 昭和38年8月給水開始
 住所：旭町5-7-8
 配水池の大きさ：1,000㎡×1つ
 800㎡×1つ
 配水能力：1日あたり4,300㎡



吉町浄水場
 昭和44年11月給水開始
 住所：吉町4-10-45
 配水池の大きさ：10,000㎡×1つ
 5,000㎡×2つ
 配水能力：1日あたり28,000㎡

水道庁舎
 住所：氷川町2118-5

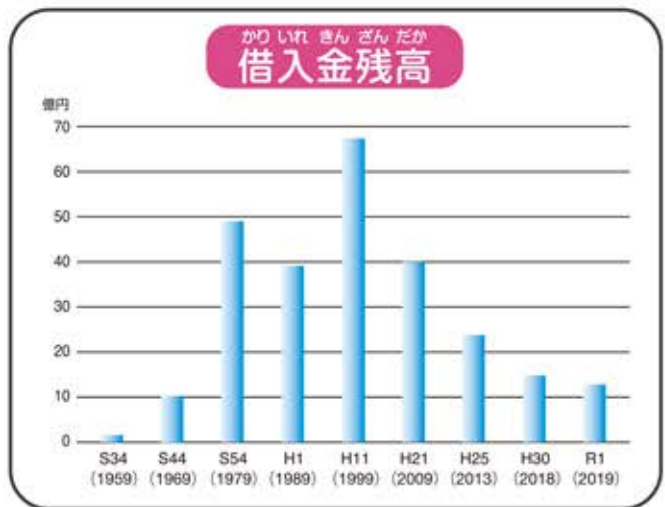
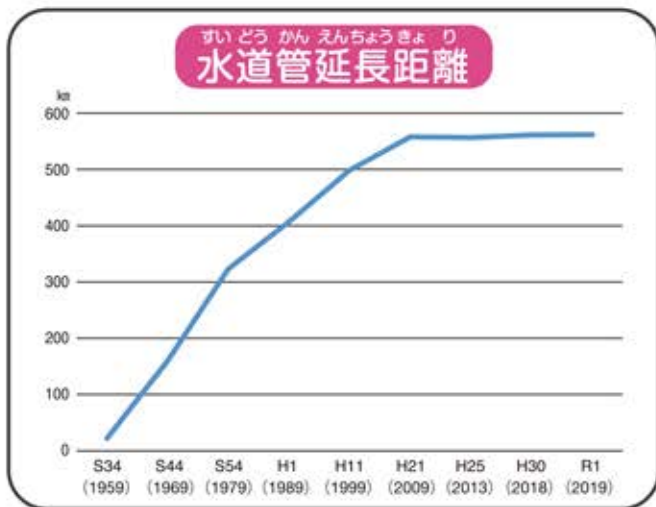
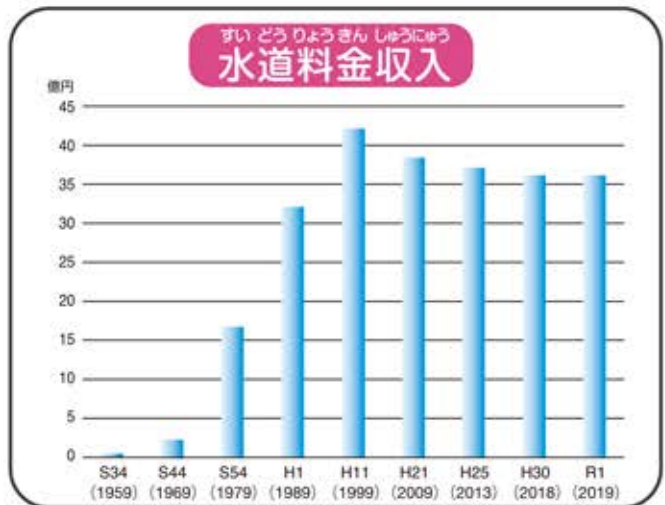
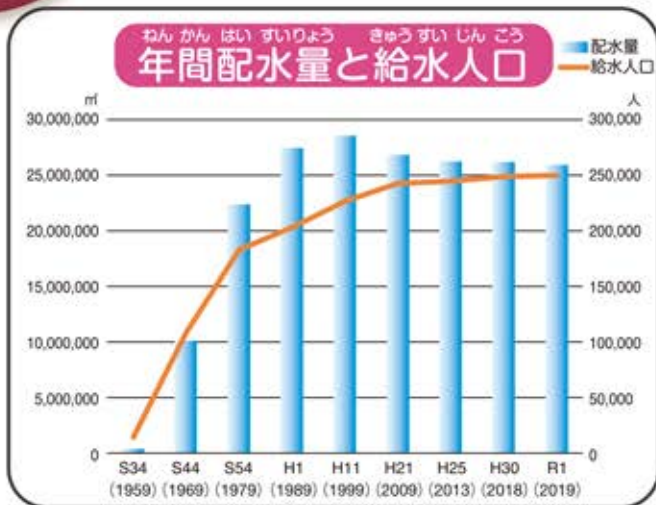


平成27年1月業務開始
 応急給水設備能力：
 1日あたり138㎡



谷塚浄水場
 昭和44年2月給水開始
 住所：谷塚上町447
 配水池の大きさ：3,000㎡×1つ
 配水能力：1日あたり6,800㎡

凡例 ●●小中学校32か所 ▲水道庁舎1か所 ★浄配水場5か所



草加市の水道は、昭和34年(1959年)に給水を開始して以来、市の人口の増加とともに水道管を延長する工事などを進めてきました。平成20年(2008年)には水道の普及率が市内で100%となり、現在の市内の水道管の総延長は560kmを超え、「拡張」から「維持管理」の時代へとつり変わりました。

しかし、地震などの大きな災害に備え、古い水道管などの施設を新しくするためには多くの費用がかかります。その一方で、近年は節水型機器の普及や、節水意識の定着に伴い配水量や水道料金収入は減少傾向となっており、費用の捻出が大きな課題となってきました。

すいどうちやうしゃあんないず 水道庁舎案内図



草加市水道事業

〒340-8555
 草加市氷川町2118-5
 TEL 048-925-3131 (代表)
 FAX 048-925-5046
 ホームページ www.city.soka.saitama.jp
 Eメール suido-keiei@city.soka.saitama.jp